



LD等発達障害児・者親の会
「けやき」機関紙

第107号

2015年3月発行

発行者・代表 三輪 覚子
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8
[http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

平成27年度 総会のご案内

下記の通り、平成27年度 親の会「けやき」総会を開催いたします。
ご多用中とは存じますが、ぜひご出席ください。

当日は会員更新の手続き、総会議事、交流会を予定しています。一年間のスタートとなる大切な行事です。楽しく和やかな総会となるよう、役員一同、力を合わせて準備しています。

なお、更新手続きの際には申込書と年会費、子どもの状況アンケートをご持参ください。



日時：平成27年4月25日(土) 13:00~16:30
(開場12:50)

場所：東京都多摩社会教育会館 201研修室
立川市錦町6-3-1 (東京都多摩教育センター内)

- | | | |
|----|--------------|-------------|
| 内容 | ① 会員更新と入会手続き | 13:00~13:30 |
| | ② 総会議事 | 13:30~14:30 |
| | ③ 交流会 | 14:30~16:15 |
| | ④ 閉会 | 16:15~16:30 |

議事録だより(例会・役員会・渉外関係の報告)

11月

- 16日(日) 関東ブロック会議
全国LD親の会評議員会報告・各会報告・ディスカッション
- 23日(日) 11月例会
「障害者総合支援法における就労支援について学ぶ」
NPO 法人クロスジョブ東京 湯田 正樹氏



12月

- 5日(金) 全国特別支援教育推進連盟振興協議会 出席
- 7日(日) JDD ネット体験ワークショップ 参加
- 16日(火) 東京LD親の会連絡会 東京都への要望書回答 出席
- 20日(土) ランチ忘年会 ロイヤルホスト国立駅前店 10名参加

1月

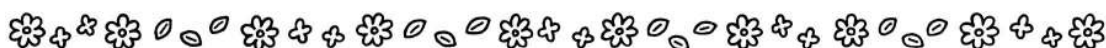
- 25日(日) 1月例会
「自立生活するために、今日からどんなことができるのか」
～先輩会員の提案をうけてのワークショップ～
NPO 法人 WingPRO (新堀和子氏)
生活の基本となる「金銭管理・時間管理」にテーマを絞り、子どもの課題を見つげながら、どのように改善し身につけさせていけばいいのかを、参加者同士でディスカッション

2月

- 28日(土) 2月例会(会員交流、近況報告)

3月

- 8日(日) 関東ブロック会議
全国LD親の会評議員会報告・各会報告・ディスカッション
総会や組織運営等の次年度に向けた活動を中心に報告と意見交換
- 29日(日) 3月例会
機関紙「けやき」107号の印刷・封入・発送作業&交流会



LD 学会報告

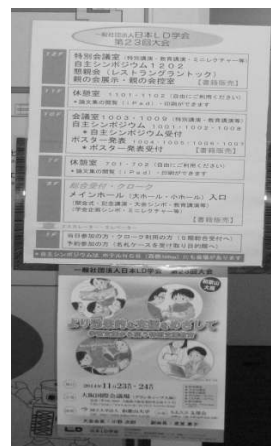
「日本 LD 学会 第23回大会に参加して」

2014年11月23日～24日に、日本LD学会第23回大会が大阪の中之島にある大阪国際会議場(グランキューブ大阪)にて『より効果的な支援をめざして～学習支援から問う特別支援教育～』というテーマで行われました。

けやきも、『全国LD親の会ポスター展示』に参加し、12階ホワイエに展示されました。

今回の日本LD学会には、2日間で約4千人の参加者があり、各会場で活気のある発表が行われました。

その中から富山大学の話とワーキングメモリーの講演に参加しましたので、報告します。



1. 発達障害大学生に対する就職支援ガイド～修学支援から就

職支援へのリンケージ～(富山大学・西村先生、桶谷先生、水野先生他)

○富山大学では、2007年、支援室を設置し、発達障害のある学生支援を本格的に開始した。10月末現在、全学年9千人中、身体障害8人・発達障害57人のフォローをしている。修学支援としては、週1回の個別面談、保護者面談、個別面談、小集団活動、学部との連携などを行なっている。

○就職の現状としては、「在学中は、心身の安定や卒業を目指すことで精一杯。」「一般雇用を目指す学生が多い。」「発達障害学生の障害者雇用にはまだ問題点が多い。一弱みに焦点をあてられ、自信と意欲を失う。」ということがある。

○課題としては、「就労支援機関と大学の強みを生かしたコラボ。」「見えない障害に対する採用担当者の不安軽減。」「フォローアップ。」があげられる。

○職場定着支援の方法は、「他の学生と同じように『シューカツ』を開始。」

⇒「失敗体験を重ねる」⇒「『障害者雇用枠』の検討。」をとっている。しかしながら、デリケートなことがあり、就職活動の流れが明示化されていない為、時間と労力を要する。

○富山大学の発表では、具体的な事例として3人の例があげられました。

・人と話すのが苦手で、トライアル雇用の際も昼休みに泣きだしてしまったり、パニックになったことが原因でなかなか採用が決まらなかった学生を、大学卒業後3年間ハローワークとも連携してうまくいった事例。

・一般雇用で採用が決まった卒業生について、就職後も月1回メールでの近況報告を受け、6月に卒業生が会社を辞めようか迷った際に、大学から「期間を決めて働くことを勧める。」「技能についての手応えを確認。」「転職を考えるとしても、

今の職場の経験は無駄にはならない。」という助言をしてうまくいった事例。

・障害者雇用で就職が決まり、責任ある仕事も任されたが、2～3年経った時期にミスが連発し、同僚との問題が発生した卒業生に、ハローワークと大学支援者とで連携して、その会社を訪問し、発達障害への一般的な理解とその卒業生の特性と対応例を説明。「上司に、特性や注意事項の引き継ぎがされてなかった。」「大卒だからもっと出来ると思っていた。」ことが原因であったことがわかりうまくいった事例。

富山大学の話は、大学の発達障害者への支援として、ここまでやっている大学があるのか…と、私にとっては、驚きの内容でした。メイン会場とは離れた場所での講義でしたが、大盛況でした。

2. ワーキングメモリーと認知の構え (京都大学大学院：齊藤先生)

☆事前に紹介されていた内容としては以下の通りです。

- ①ワーキングメモリーに保持されている情報は、課題遂行中には不可欠でありながら、課題が終了した時には、次の別の課題遂行に影響を与えないように消去される必要がある。
 - ②ワーキングメモリーの働きが多く研究者によって注目されているのは、それが心の制御や行為の制御と深くかかわっていると考えられるからである。ワーキングメモリーは、課題目標の保持という形で心の制御に関わり、結果的にその性質が人間の学習を含む多くの活動を特徴づけることになる。
 - ③ワーキングメモリーが人間の認知機能や学習活動を根幹から支えているということが知られるようになり、ワーキングメモリーをトレーニングすることによって、そうした機能や活動を向上させることが出来るのではないかと期待されている。
- 記憶の機能は、「時間をこえて情報を保持しておく『働き』である。」記憶の3つの段階は、「入力・学習による『符号化』」⇒「保持・貯蔵」⇒「検索による出力(テスト)」である。
- ワーキングメモリーの定義は、以下の通り。
「課題遂行中に、その課題を遂行する目的で一時的に必要となる記憶の機能(働き)・それを支えるメカニズム(仕組み)やシステム(構造)」
- ワーキングメモリーの特徴は、以下の通り。
「課題遂行中には不可欠でありながら、課題が終了した時には、次の別の課題遂行に影響を与えないように消去される必要がある。一短時間に情報保持を担うことが前提になっている。」
- ワーキングメモリーを測定するには、「リーディングスパン(文の音読+単語の記憶)」、「計数スパン」、「演算スパン」、「空間スパン」がある。
- ワーキングメモリーの役割としては、「言語理解」「言語産出」「推論/知能」「教室内的での行動」「学業成績」があげられる。
- 認知の構えには、「学習の構え」と「心の構え」「課題への構え、課題切り替え法」がある。心の構えには、心の準備が必要である。構えの切り替えには、構えの再



構成が必要。ここに実行機能が関わっている。

- 実行機能、遂行機能ともいう。思考と行為の制御を支える働きとして、課題目標にしたがって我々の思考と行為を管理統制する汎用的制御メカニズムがあげられる。課題目標の保持を行なう為に、「ワーキングメモリー」が必要となる。
- 目標保持というワーキングメモリーの働きがなければ、我々は外的刺激のなすままとなる。
- し忘れとワーキングメモリーの例
 - ・電話をしたのに肝心の用件を言い忘れる。
 - ・階段を上がったが、何のために2階に上がったのか忘れてしまう。⇒上記のような現象を、「課題目標の一時忘却」という。
- ワーキングメモリーと課題無関連思考
 - ・課題が難しいとエネルギーをとられてしまう。
 - ・課題無関連思考の生起—単純な実験室課題遂行中も起きる。
 - ・読解に集中しなければいけない時に、課題無関連思考が多い人は成績が悪い。
 - ・授業などで、小テストをやると、「課題無関連思考」をする時間が減るので成績が上がる傾向がある。⇒「課題無関連思考」は誰にでも生じる。だがその頻度は状況によって変化する。
- ステレオタイプ脅威とワーキングメモリー
 - ・自分に関わるネガティブなステレオタイプが顕在化している。
 - ・同じ演算課題でも、(本当は差のない課題で)「この課題は男女差があって…」と前置きをして講演をすると、男女差が出来てしまう傾向がある。
- 「課題成績」を良くするには、「ワーキングメモリー」と「課題無関連思考」が大きく関わっている。「ワーキングメモリー」は、目標の保持と課題関連情報の保持を行なう。また、「課題無関連思考」は、認知の構えと関連性があり、ステレオタイプ脅威の影響を受ける。

ワーキングメモリーをトレーニングすること、そして、課題無関連思考をしている時間を短くすることなどは、LDのお子さんの行動や思考を改善していくのに有効な手段になるかもしれないという期待を持たせた講演でした。また、今回のLD学会では、この『ワーキングメモリー』は非常に注目されていた内容で、この講演については、当初の会場(約300人収容)から大ホールに変更になりましたが、約1千人以上の方が聴講する熱気がありました。実際の講演では、時間切れで、ワーキングメモリーのトレーニング方法までは到達出来なかったのは残念でしたが、他の講演の『ワーキングメモリーのアセスメント』の講演も人気があったようです。



K. Y

自主グループ活動報告

ポーレ ポーレ

今年度後半期の活動は以下の通りです。

9月 室内活動〔近況報告、ゲーム、今後の活動計画〕

10月 高円寺周辺散策

11月 調布、深大寺散策

12月 ボーリング、カラオケ

1月 調理

2月 映画鑑賞

3月 次年度活動についての話しあい



今年度は新メンバーが1名加わり1年間無事活動が行われました。

12回の活動の中、半分近くがボランティアさん不在の活動になった1年でした。

いつかはこういう活動になると思っていたものの、親としては心配な部分もありました。しかしメンバー達はしっかりと自分達で責任を持って活動してきました。ボランティアさん頼りの活動からメンバー中心の活動へと移行しつつあった1年であったと思います。まさに、継続は力なり という言葉がぴったりの1年でした。 H . O



つくし

① 「懇親会」平成 26 年 11 月 1 日（土）10：00～12：00 参加者 4 人

主な話題は、通級学級がなくなり全ての小・中学校に支援教室ができるが、その支援教室の具体的な内容が分からないことへの不安が出されました。

現在通級指導学級でグループ指導（コミュニケーション等）中心に指導を受けている保護者たちですが、通級学級に通わせている保護者への具体的な説明の場がないことによるものです。「文科省のホームページや東京都特別支援教室モデル事業では、方向としての記述は有るけど、親として一番知りたい内容が良く分からない」と…。

15年前、私の息子が通級に通い始めた当時の通級学級は、認知度も低く個々の子どもに合わせた当時の先生たちの奮闘ぶりがありました。

今回の保護者の不安発言から通級学級の充実ぶりを改めて感じました。

② 「懇親会」平成 27 年 2 月 7 日（土）10：0～12：00 参加者 4 人

子どもたちが高学年になるこの時期、つくしの集まりは中学選びが話題の中心です。親の会けやきは既に四半世紀経とうとしていますが、子どもたちの中学時代は暗黒の時代と言われて来ましたが、未だに中学校での教育的支援が充分ではありません。

集まりの話題は、いつも教育的配慮や学校の対応等々、学校選びの情報交換の場となります。そして、中学受験を経て私立中学に進んだことで学校生活を楽しんでいる子どもの様子が語られる内容に、義務教育である地域の中学校で何故そのような環境となれないのかと考えてしまいます。

どうか特別な教育的支援が必要な子どもたちが苦しく辛い中学生活から、学校が楽しい・勉強が楽しいと過ごせる様な教育環境としての特別支援教室の役割に期待します。次回は5月頃予定しています。 T . T

全国LD親の会 関東ブロック会議報告

日時：3月8日（日） 13：00～16：00

場所：港区障害保健福祉センター 竹芝小記念ホール

出席者：評議員 2名、親の会12団体の代表者 23名

評議員から「平成26年11月～27年2月まで4ヶ月間の全国LD親の会評議員会報告」があり、各会12団体からも、それぞれ活動の報告がありました。

その活動にも、地域性や団体の特徴がよく現れているように思います。けやきの正会員は現在30数名ですが、団体によっては300人近いところもあります。多人数の団体では、昔「けやき」がそうであったように、たくさんのグループ（子供の年代別であったり、地域別であったり・・・）が存在し、それぞれに身近なテーマで親子で活発に活動しています。幅広い年代がいっしょに集まって活動するのも、もちろんお互いに刺激になり良いことですが、同じ年代の中で「今現在こうなんだよね。」「そうそう、大変だよね。」という現在進行形の気持ちが共感できるのは、とても心強く感じます。その気持ちから、親の会としてどんなことをしていったらいいのか、様々なテーマ（活動の内容）が生まれるのでしょうか。「けやき」も、もう少し会員の皆様が例会に出向いてこられ、まとまった人数で活動できれば、今にもまして魅力的な「けやき」になるのでは、と思います。

また、関東ブロック担当評議員選出関連や全国LD親の会年会費値上げ案等について話し合いが行われ、活発に意見、提案が出されました。

意見交換では、3月に廃止予定のメール便のことを話題にしました。全国に送る会報等は数号分をまとめて送る、関東ブロックの分はブロック会議の時に持参する等の意見が出ました。また、データ（メール）で受け取ってもよい人には、データ送信にしているという会もありました。会計的に郵送料（送料）は大きな部分を占めるので、これからは会員向け会報のデータ送信も考えなければいけないのかもしれない。

今回は、送料をいかに安くあげるかについて、他団体の工夫を聞くことができましたが、会員を増やす為にどんなことをしているのか等、毎回他団体の様々な取組みを知ることができ、とても参考になります。

Y. A

NPO 法人全国LD親の会 第8回総会のお知らせ

日時：2015年6月13日（土）12：30～14：00（受付12：00～）

場所：ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

※総会後の研修会テーマ「合理的配慮について」14：30～16：30

※青年の交流会（案） 天王寺界限散策（ハルカス300～通天閣周辺）



活動やイベントの情報

- 発達障害啓発週間 4月2日～8日 日本各地で啓発活動が行われます
詳細は <http://www.worldautismawarenessday.jp/>
- NPO 法人全国 LD 親の会第14回公開フォーラム 6月14日(日)
大手門学院 大阪城スクエア 大手前ホール(大阪府中央区大手前1-3-20)
「これからの発達障害支援と合理的配慮」
- 一般社団法人日本LD学会 第24回大会(佐賀) 10月11日～12日
福岡国際会議場(福岡市博多区石城町2-1)
「学びの継続と共生社会」～アセスメントと学習支援を基盤として～
予約参加の受付期間: 3月10日～7月23日

会員の皆さまへお願い

継続手続きは4月総会と5月例会で受付します。

なお、この2回の例会に都合がつかない場合は銀行振り込みでも受付いたしますので、5月31日までに手続きをしてくださるよう、ご協力願います。

振込口座: みずほ銀行 東青梅支店(店番号745) 普通 1532617
親の会けやき 会計 三輪覚子(ミワサダコ)
年会費: 5000円(振込み手数料はご負担ください)
※申込書と子どもの状況アンケートは事務局(瀧澤)宛に郵送してください。

【平成27年度賛助会員(親の会の活動にご賛助くださる方)募集中!】

賛助会員年会費: 一口3500円(一口以上)

詳しくは、当会「けやき」ホームページ

<http://keyakitokyo.web.fc2.com> の「入会のご案内」をご覧ください。

お問い合わせや連絡は、oyanokai_keyaki@yahoo.co.jp にてお伺いします。



【編集後記】

2015年3月2日に開催された“「はたらく」を支えるために”というセミナーを受講しました。その中で、宇都宮大学の梅永教授が発達障害の人の退職原因で、ハードスキル・ソフトスキルに分けた場合、8割がソフトスキルが原因だと話されました。とても興味深く拝聴いたしました。

T . M